

中区ボランティアだより

広島市中区社会福祉協議会 中区ボランティアセンター
〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階
TEL (082)249-3114 FAX (082)242-1956
Eメール naka@shakyo-hiroshima-city.or.jp
ホームページ http://shakyo-hiroshima.jp/naka/



2022年
8月号

第24回 なかくボランティアまつり

～この街が好き。～

令和4年10月15日（土）10時～13時

中区地域福祉センター（中区大手町4-1-1）

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止する場合がございます。

ボランティア・障がい児者・地域の交流を目的として開催してきた
「なかくボランティアまつり」を3年ぶりに開催します！

ぜひご家族やお友達と一緒に、遊びに来てください♪

※今回は、コロナ対策に努めながら、規模を縮小しての開催となります。

地区社協紹介 作業所紹介

今回、地区社協や作業所紹介で初の動画撮影を試みています！

学生のボランティアが動画撮影や編集に関わってくれたものもあります！

ボランティアまつりで公開しますので、ぜひお楽しみに♪

ボランティアを 募集しています

・まつり前日の準備、当日各コーナーのお手伝いをしていただけの方を募集しています。

・担当コーナーや時間帯など相談の上で調整しますので、中区社協にお問い合わせ下さい。

バザー物品の提供をお願いします

タオル、石鹸、洗剤、食器（箱に入ったもの）、カバン、日用雑貨など



・未使用のものをお願いします。古着はご遠慮願います。
・食品については賞味期限等の確認のため、中区社協へ事前にお問い合わせください。

※お問い合わせ・提供は、平日8:30～17:15までをお願いします。
バザーの収益は、ボランティア活動の推進のため、大切に使用させていただきます。



福祉体験学習のご紹介



小学校から大学の生徒・ボランティア団体、企業等を対象とし、一人ひとりの「生きる力」や「福祉のこころ」を育む学習の機会を提供しています。福祉を学び、体験・共感することから、いろいろな“気づき”が生まれ、“ほっとけん”気持ちを育み、行動する。そんな子どもや大人たちで広島のまちがいっぱいになり、誰もが住みやすいまちを目指して活動しています。※4月～翌年2月に、申請団体の希望場所で行われています。

・車いす利用者理解

車いす利用者の話を聞いたり車いす体験を行ったりすることで、車いす利用者の気持ちを理解し、自分たちに何ができるかを考える。



・聴覚障がい者理解(手話サークル)

聴覚障がい者や聴覚障がい者を支援する団体から話を聞いたり、手話体験等を行うことで、聴覚障がい者の立場に立って考え、自分たちに何ができるかを考える。



・視覚障がい者理解(盲導犬ユーザー)

盲導犬使用者の話を聞くことで生活の様子を知り、自分たちに何か手助けできることはないか考える。共により良い暮らしをつくっていきたいという気持ちを育てる。



・高齢者理解

学習サポーターからの講話や高齢者疑似体験をすることにより、高齢者の特性について学び、自分たちに何ができるかを考える。



・知的障がい者の理解 ～ひろしまあび隊活動紹介～

ひろしまあび隊は、疑似体験を通して、知的障がい者の困難さの理解を深める活動を行っています。「あび・あび」という言葉しか使えない、架空の国を想定し、お互いの意思が伝わらない体験をすることで、相手を思いやる心の大切さを考えてもらうプログラムです。

- ①「あび王国へようこそ」(疑似体験)
- ②「絵に描いてみよう」(絵に描きにくい言葉は伝わらないことを理解する体験)
- ③「知ってほしい！わかってほしい！知的障害」(パワーポイントや冊子を使っての説明)
- ④「保護者の話」(我が子の様子、親の思いや願いの話)

福祉教育のやさしさ発見プログラムとして行われたひろしまあび隊の活動の様子



「あび・あび」という言葉だけで、紙に書いてある内容を相手に伝えてあげてください。

知的障がいのある方に抽象的なことを伝えるには、具体的な表現も混ぜながら伝えるとよい。



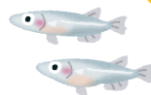
講座を受けた人の感想

- せかされることでストレスを抱える子も多いということがわかった。自分のペースでさせてあげることも大切だと感じた。
- 本人ができることはやさしく見守り、困難なことには手を貸してあげるようにしたい。

福祉体験学習では、紹介したような活動以外にも複数のプログラムを実施しております。また、高齢者疑似体験セットやアイマスクなどの機材の貸し出しも行っております。地域の小中学校の他、地域にお住まいの方や企業などの団体も利用可能です。※ご希望がありましたら中区社協までお問い合わせ下さい。

報告

ボランティアグループめだか30周年記念講演



今年で結成30年を迎えたため、記念として7月9日（土）に講演会を開催しました。広島大学保健管理センター高垣助教を講師としてお招きし、「新型コロナウイルス流行による心理的な変化とその対応」について講演されました。

30名の参加者が来られ、参加者から「ネガティブになりそうなときは、自分に注意を向けるのではなく、あえて外に注意を向け、自分に合ったリラックスできる方法を見つけようと思いました。」などと感想をいただき、盛況でした。

めだか小早川代表から「みなさんのご協力でいい講演会ができました。」と笑顔で話されていました。



高垣助教とボランティアグループめだかのみなさん

報告

パンダの夏まつり



7月23日（土）にCLiP HIROSHIMAでパンダハウス主催のパンダの夏まつりが開催されました。

パンダハウスは、障がいのある方に対して、地域社会で自立した生活を営むことができるように社会復帰を目指す支援を行う作業所です。

当日は、大学生のボランティアが駆け付け、主にゲームコーナーで輪投げやボール投げの活動をしてもらいました。

県立広島大学2年生の新井さんは、「親子の参加者が多く、お子さんが自由奔放で説明が大変でしたが、楽しんでくれたらいいなという想いで活動しました。作業所のブースの見せ方がそれぞれ違って、知るきっかけになりました。」と話されていました。

この他にも高校生・大学生が夏休み期間を利用して、作業所や高齢者施設などボランティア活動に参加しました。

※ボランティア活動を希望される方は、中区社協までご連絡ください。



毛糸の募集

中区ボランティアセンターでは、使わなくなった毛糸や編み物を募集しています。

寄付していただいたものは個人ボランティアの工作で使われます。

皆さまのご寄付をお待ちしています。



講座案内

手話入門講座

聴覚障がい者との大事なコミュニケーションである「手話」。その生き生きとした表現方法を私たちと一緒に学んでみませんか？

日 時：令和4年9月14日(水)～令和4年12月7日(水)

全12回 毎週水曜日 19時～20時45分

会 場：中区地域福祉センター 大会議室

参加費：2,000円(テキスト・資料代として)

定 員：25名程度(募集人数を超えた場合は抽選となります)

申込方法：往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・職業を記入の上、申し込み下さい。

申込締切：9月5日(月)必着

※掲載記事に関するご質問や各講座などへの参加申し込みは、表紙の宛先までお問い合わせ下さい



ボランティア担当職員紹介



今年度、ボランティアの主担当をしております。島谷海渡(しまたにかいと)と申します。前年度から引き続きになりますが、メインで担当するのは初めてになります。至らない部分も多々あると思いますが、これから様々な場面でボランティアの皆さまや地域の皆さまと関わっていけることを楽しみにしております。これから1年間、どうぞよろしくお願い致します。



今年度からボランティア担当になりました。戸田敬志(とだけいし)と申します。以前からボランティアの皆さまとともに活動したいと思っていましたため、嬉しく思います。広報担当も兼任しており、ボランティア活動を広げるため、**8月末からFacebookとホームページに活動記事を随時掲載予定**です。ぜひ楽しみにしてください。どうぞよろしくお願い致します。



皆さま、はじめまして。7月1日より入職しました内藤望(ないとうのぞみ)です。ボランティア・福祉教育・共同募金を担当させていただきます。前職は介護士だったため、初めて知ることが沢山あり、日々勉強中ですが、地域の皆様のお役に立てるよう、精一杯頑張ります！これからよろしくお願いいたします。



※掲載記事に関するご質問や講座などへの参加申し込みは下記の宛先までお問い合わせください。

【申込み・問い合わせ先】

広島市中区社会福祉協議会／ボランティアセンター

〒730-0051 中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階 中区地域福祉センター

TEL (082)249-3114 FAX (082)242-1956 Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp